



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社オカムラ

コード番号 7994 URL https://www.okamura.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 中村 雅行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 コーポレート担当 (氏名) 福田 栄 (TEL) 045-319-3445

四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	49,068	△18.0	324	△87.2	861	△72.9	1	△99.9
2020年3月期第1四半期	59,858	0.9	2,545	4.4	3,178	2.5	2,144	1.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 2,975百万円(311.8%) 2020年3月期第1四半期 722百万円(△73.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	0.01	—
2020年3月期第1四半期	19.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	226,142	136,576	59.9
2020年3月期	236,327	135,497	56.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 135,562百万円 2020年3月期 134,282百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	12.00	—	16.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	102,000	△13.9	600	△86.8	1,100	△78.9	700	△79.5	6.36
通期	230,000	△9.2	8,000	△40.3	9,000	△38.8	6,300	△36.1	57.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	112,391,530株	2020年3月期	112,391,530株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,251,001株	2020年3月期	2,249,872株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	110,141,071株	2020年3月期1Q	110,147,468株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の国内経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に、政府が緊急事態宣言を発令するなど経済活動が停滞する動きとなりました。企業業績の悪化による設備投資抑制・経費削減という当社グループを取り巻く環境は極めて厳しい状況ではあるものの、経済活動は徐々に再開されており、今後緩やかに回復に向かうと考えております。

このような状況のもと、当社グループは、企業活動を自粛せざるを得ない状況となり、在宅勤務の実施や国内出張の自粛、ショールームの閉館、操業度の低下にともなう生産部門の一時帰休等を実施してまいりました。一方で、新型コロナウイルス感染症対策としての在宅勤務における働く環境の調査結果及びアフターコロナに向けたワークプレイス戦略レポートを公開するなど社内の知見を活かした情報発信にも取り組み、特徴ある製品づくりやトータルソリューション提案による新しい市場創出に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高49,068百万円（前年同四半期比18.0%減）、営業利益324百万円（前年同四半期比87.2%減）、経常利益861百万円（前年同四半期比72.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1百万円（前年同四半期比99.9%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「物流システム事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

セグメントの名称	売上高(百万円)			セグメント利益又は損失(△)(百万円)		
	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	増減	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	増減
オフィス環境事業	30,679	25,910	△4,769	1,494	329	△1,165
商環境事業	23,703	18,534	△5,169	547	△333	△881
物流システム事業	4,075	3,768	△307	433	434	1
その他	1,399	855	△544	70	△105	△175
合計	59,858	49,068	△10,790	2,545	324	△2,220

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

オフィス環境事業

オフィス環境事業につきましては、オフィスの大型移転需要は概ね計画通りに推移いたしましたが、小口、改装案件の投資抑制や様子見が顕著となりました。一方、働き方改革など新しいオフィスづくりへの動きは、業種・規模を問わず全国の幅広い企業層に広がっており、さらに、コロナ禍での働き方の変化の急速な動きにより、なお一層活発化しています。このような状況のもと、新しい働き方や環境を実践・検証する実験オフィス「ラボオフィス」での実証結果や自社での働き方改革における様々な施策の実践により得られた知見を活かし、新しいオフィスづくりの提案を積極的に展開いたしました。営業自粛の影響もあり、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益ともに減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、25,910百万円（前年同四半期比15.5%減）、セグメント利益は、329百万円（前年同四半期比78.0%減）となりました。

商環境事業

商環境事業につきましては、新規出店需要は概ね計画通りに推移いたしましたが、当社の主要顧客である食品スーパー、ドラッグストア等小売業を中心に、コロナ禍における店舗運営の繁忙により改装需要は大きく減少いたしました。このような状況のもと、店舗什器、カート機器、セキュリティ製品など総合力を活かしたトータルソリューション提案を強化するとともに、感染防止対策に関する新しい需要の取り込みに努めましたが、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益ともに大幅に減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、18,534百万円（前年同四半期比21.8%減）、セグメント損失は、333百万円（前年同四半期は547百万円のセグメント利益）となりました。

物流システム事業

物流システム事業につきましては、人手不足を背景とした省人・省力化への要望は強く、大型物流施設を中心に自動倉庫の需要は概ね計画通りに推移いたしました。このような状況のもと、優位性のある製品の強みを最大限に活かした積極的な提案活動を展開するとともに、施工現場での感染予防対策を徹底し、エンジニアリング体制の強化にも努めました。小規模・短納期案件の減少により、売上高は減少しましたが、利益は横ばいを確保いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、3,768百万円（前年同四半期比7.5%減）、セグメント利益は、434百万円（前年同四半期比0.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、次のとおりであります。

総資産は、前連結会計年度末から10,184百万円減少して226,142百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の増加、売上債権の減少を主な要因として14,047百万円減少し、固定資産は、投資有価証券の増加を主な要因として3,863百万円増加いたしました。

負債は、短期借入金及び繰延税金負債の増加、仕入債務、未払法人税等及び賞与引当金の減少を主な要因として、前連結会計年度末から11,264百万円減少して89,565百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加、利益剰余金の減少を主な要因として、前連結会計年度末から1,079百万円増加して136,576百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ3.1ポイント増加して59.9%となりました。

当第1四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益125百万円、減価償却費1,430百万円及び売上債権の減少額21,690百万円等による増加と、賞与引当金の減少額3,583百万円、仕入債務の減少額8,489百万円及び法人税等の支払額3,640百万円等による減少の結果、7,924百万円の資金増加（前年同四半期は8,087百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得561百万円、無形固定資産の取得240百万円等による減少の結果、649百万円の支出（前年同四半期は1,534百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加額1,855百万円等による増加と、配当金の支払額1,551百万円等による減少の結果、30百万円の支出（前年同四半期は255百万円の増加）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から7,054百万円増加（前年同四半期は6,859百万円の増加）し、38,552百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 2021年3月期の連結業績予想

(第2四半期)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 2020年5月13日発表	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回発表予想	102,000	600	1,100	700	6.36
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期)	118,429	4,542	5,220	3,420	31.06

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 2020年5月13日発表	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回発表予想	230,000	8,000	9,000	6,300	57.20
(ご参考)前期通期実績 (2020年3月期)	253,170	13,391	14,712	9,851	89.44

第2四半期及び通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未定とさせていた
だいておりましたが、足元では経済活動は徐々に再開されており、緩やかに景気が回復に向かうと考えていることから、
最近の動向や現時点において入手可能な情報に基づき算定しましたので、第2四半期（累計期間）および通期の業績予
想を公表いたします。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいてお
り、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

② 2021年3月期の配当予想について

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	年間合計
前回発表予想 2020年5月13日発表	未定	未定	未定
今回発表予想	12円00銭	16円00銭	28円00銭
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	16円00銭	16円00銭	32円00銭

2021年3月期の配当予想につきましては、業績予想と同様に未定としておりましたが、当社の配当方針および今回算
定した2021年3月期連結業績予想を勘案し、中間配当予想を1株につき12円、期末配当予想を1株につき16円といたし
ます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,594	39,420
受取手形及び売掛金	71,581	49,891
有価証券	510	510
商品及び製品	11,921	12,324
仕掛品	1,593	1,706
原材料及び貯蔵品	4,621	4,842
その他	2,007	2,081
貸倒引当金	△28	△22
流動資産合計	124,801	110,754
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,249	15,019
土地	27,829	27,829
その他（純額）	15,018	14,962
有形固定資産合計	58,097	57,811
無形固定資産	3,762	3,618
投資その他の資産		
投資有価証券	41,555	45,863
その他	8,136	8,122
貸倒引当金	△27	△27
投資その他の資産合計	49,664	53,958
固定資産合計	111,525	115,388
資産合計	236,327	226,142

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,324	19,405
電子記録債務	15,844	15,340
短期借入金	6,244	8,094
1年内返済予定の長期借入金	2,552	2,501
未払法人税等	4,272	90
賞与引当金	4,419	836
その他	6,754	8,032
流動負債合計	67,413	54,302
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	3,343	3,324
退職給付に係る負債	15,573	15,835
その他	4,500	6,103
固定負債合計	33,416	35,263
負債合計	100,830	89,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,670	18,670
資本剰余金	16,766	16,766
利益剰余金	92,528	90,764
自己株式	△2,442	△2,444
株主資本合計	125,522	123,757
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,614	12,835
為替換算調整勘定	△23	△235
退職給付に係る調整累計額	△831	△794
その他の包括利益累計額合計	8,759	11,805
非支配株主持分	1,214	1,014
純資産合計	135,497	136,576
負債純資産合計	236,327	226,142

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	59,858	49,068
売上原価	40,738	33,562
売上総利益	19,120	15,506
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	2,750	2,126
給料及び手当	5,544	5,467
賞与引当金繰入額	520	511
賃借料	2,255	2,279
その他	5,503	4,796
販売費及び一般管理費合計	16,574	15,181
営業利益	2,545	324
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	446	436
持分法による投資利益	135	115
その他	228	196
営業外収益合計	817	757
営業外費用		
支払利息	39	42
社債発行費	37	-
為替差損	52	60
支払補償費	-	66
その他	54	51
営業外費用合計	184	220
経常利益	3,178	861
特別利益		
投資有価証券売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
減損損失	7	6
投資有価証券評価損	13	532
操業休止関連費用	-	197
特別損失合計	20	735
税金等調整前四半期純利益	3,159	125
法人税、住民税及び事業税	47	108
法人税等調整額	963	27
法人税等合計	1,011	136
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,148	△10
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△12
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,144	1

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,148	△10
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,550	3,248
為替換算調整勘定	61	△227
退職給付に係る調整額	47	36
持分法適用会社に対する持分相当額	15	△70
その他の包括利益合計	△1,425	2,986
四半期包括利益	722	2,975
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	709	3,046
非支配株主に係る四半期包括利益	13	△70

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,159	125
減価償却費	1,437	1,430
減損損失	7	6
操業休止関連費用	-	197
持分法による投資損益(△は益)	△135	△115
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△25	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,147	△3,583
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	294	312
受取利息及び受取配当金	△453	△444
支払利息	39	42
支払補償費	-	66
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	-
投資有価証券評価損益(△は益)	13	532
売上債権の増減額(△は増加)	11,379	21,690
たな卸資産の増減額(△は増加)	△720	△755
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,800	△8,489
未払消費税等の増減額(△は減少)	369	△777
その他	109	1,112
小計	10,524	11,346
利息及び配当金の受取額	466	447
利息の支払額	△39	△46
補償費の支払額	-	△66
操業休止関連費用の支払額	-	△116
法人税等の支払額	△2,863	△3,640
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,087	7,924
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△365	△305
定期預金の払戻による収入	357	525
有形固定資産の取得による支出	△1,635	△561
無形固定資産の取得による支出	△392	△240
投資有価証券の取得による支出	△2	△102
投資有価証券の売却及び償還による収入	501	0
その他	3	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,534	△649
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,993	1,855
長期借入れによる収入	-	100
長期借入金の返済による支出	△171	△168
社債の発行による収入	5,000	-
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,362	△1,551
その他	△218	△266
財務活動によるキャッシュ・フロー	255	△30
現金及び現金同等物に係る換算差額	51	△189
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,859	7,054
現金及び現金同等物の期首残高	26,133	31,497
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,992	38,552

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 財務諸表 計上額 (注2)
	オフィス 環境事業	商環境 事業	物流 システム 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	30,679	23,703	4,075	58,459	1,399	59,858	—	59,858
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	30,679	23,703	4,075	58,459	1,399	59,858	—	59,858
セグメント利益	1,494	547	433	2,475	70	2,545	—	2,545

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パワートレーン事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オフィス環境事業」「商環境事業」「物流システム事業」及び「その他」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、前第1四半期連結累計期間においては「オフィス環境事業」セグメントで1百万円、「商環境事業」セグメントで1百万円、「物流システム事業」セグメントで4百万円、「その他」セグメントで0百万円であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 財務諸表 計上額 (注2)
	オフィス 環境事業	商環境 事業	物流 システム 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,910	18,534	3,768	48,212	855	49,068	—	49,068
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	25,910	18,534	3,768	48,212	855	49,068	—	49,068
セグメント利益 又は損失(△)	329	△333	434	430	△105	324	—	324

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パワートレーン事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オフィス環境事業」「商環境事業」及び「物流システム事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては「オフィス環境事業」セグメントで3百万円、「商環境事業」セグメントで0百万円、「物流システム事業」セグメントで1百万円であります。